

**委託事業実施内容報告書**  
**2019年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業**  
**【地域日本語教育実践プログラム(A)】**

**実施内容報告書**

団体名： 坂祝町

**1. 事業の概要**

事業名称	地域と繋がる日本語教室
事業の目的	多国籍化する在住外国人が生活言語を習得し、日本語で地域住民と会話ができるようになること。 また、当町が日本語教室を長期的に運営できるよう、多くの団体や大学等と連携を図ること。
日本語教育活動に関する地域の実情・課題	坂祝町の在住外国人は平成25年を境に減少傾向にあったが、平成30年度より増加傾向にある。これはリーマンショック以降、坂祝町の国籍の多くを占めていたブラジル人が帰国した一方、東南アジアから来日する外国人が増加傾向にあること、また国道21号坂祝バイパスや国道248号(美濃加茂)太田バイパスなどができ、町内外の企業へのアクセスが良くなったことで、就労する外国人の定住化・永住化傾向にあることが要因と考えられる。このことより、以前は多くを占めていた在住ブラジル人の対応を重点的に行うために、ブラジル人相談員を配置していたが、多国籍化してきたことで、多言語対応が必要になってきた。また、坂祝町内には、留学生を多く受け入れている大学や技能実習生を受け入れている企業があり、来日して間もない外国人がいること、当町で、生活している外国人と地域の日本人の間で異文化間のトラブルが発生していることから、坂祝町における生活や日本語を学ぶ場の整備が急務である。
これまで日本語教育が行われていない市区町村の状況	
事業内容の概要	<p>【日本語教育】</p> <p>&lt;1&gt; 生活の日本語          昨年度、可児市国際交流協会が、「2018年度文化庁委託「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 地域日本語教育実践プログラム(B) 空白地域の取組」の中で、坂祝町在住16歳以上の外国人を対象に「坂祝町外国人町民意識調査アンケート」を行った。(469人対象 返却数80人 返却率17.1%) アンケート結果分析の中で、「地域」と「子育て」の日本語能力について理解が低いことが分かり、今後、定住化が進む中、地域に関わる自治会や子育てに関するテーマは重要であり、日本語教室で取り扱うこととした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご近所付き合いのマナー I～IV: 2時間 2回、2.5時間 2回 計 4回</li> <li>・防災について学ぶ: 5.5時間 1回             <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 防災については、2回実施する予定だったが、台風で1回中止となった。</li> </ul> </li> <li>・病院について学ぶ: 2時間 1回</li> <li>・母語・継承語について学ぶ: 2時間 1回</li> <li>・お料理教室: 4.5時間 1回</li> </ul> <p>&lt;2&gt; 仕事に役立つ日本語          坂祝町第6次総合計画内基本目標の一つに「活動と交流が盛んなまちをめざして」があり、その目標に対する主な取り組み「多様な人材が活躍できる就労の支援」として外国籍住民を含めた様々な人々に対して就労支援事業を行ってきた。しかし、日本語教室の回数が少なく、日本語が定着する前に終わってしまったり、学習者のレベルが様々で、日本語レベルの高い学習者が途中から来なくなってしまっていた。実施アンケート結果では、「もっと幅広く仕事で使える日本語を学びたい」「もっと日本語が読めて書けるようになりたい」という意見があったことから、日本語の読み書きを学ぶ機会をより多く提供することで、定住外国人の仕事への意欲や様々な職種への就労につながり、坂祝町の商工業が発展すると考え、従来の日本語教室を拡充した形で行うこととした。従来の坂祝町の就労支援事業の「定住外国人しごとサポート」は休止し、「生活者としての外国人」のための日本語教育事業の「仕事に役立つ日本語」は、7月～12月に行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会社に行こう、会社で働こう、会社の人と話そう(報・連・相)、これからの私を考えよう: 全23回 水曜日 夜2時間</li> </ul> <p>【日本語教育を行う人材の養成・研修の実施】          これからも外国人住民はますます増えていくと予想される中、今年度から坂祝町で日本語教室が開講されることに伴い、多くの支援者が必要とされるため、未経験者、初心者向けに日本語支援者養成講座を開講した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域日本語教室、日本語ボランティアの役割、やさしい日本語、日本語多読、異文化間コミュニケーションスキル、実習等: 全13回</li> </ul> <p>【日本語教育のための学習教材の作成】          「仕事に役立つ日本語」で使用するための教材を作成した。          仕事で使う言葉の「読み書き」に重点を置き、場面ごとに使用する言葉や行動に関する内容を坂祝町の実情に合わせて、掲載した。</p>
事業の実施期間	令和元年 5月～令和 2年 3月 ( 11か月間)

## 2. 事業の実施体制

### (1) 運営委員会

#### 【運営委員】

1	春成 浩治	岐阜県国際交流センター・局長補佐
2	武田 由美	美濃加茂国際交流協会・事務局長
3	古川 竜治	中日本自動車短期大学・留学生別科長
4	各務 眞弓	可児市国際交流協会・事務局長
5	近藤 利恵	可児市国際交流協会・事務局次長
6	渡辺 いく子	日本語講師
7	高橋 正郎	坂祝町・教育長
8	林 伸孝	坂祝町・企画係長
9	登田 アンナ	坂祝町・相談員



#### 【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	令和元年7月4日(木) 13:30~16:00	2.5時間	坂祝町役場 東大会議室	春成浩治、各務眞弓 近藤利恵、渡辺いく子 高橋正郎、上杉陽介 登田アンナ	・メンバー紹介:今年度から当該事業を運営するにあたり、委員への周知と役割の確認を行った ・今年度の取り組みについて:事業運営の経緯と、取り組み内容の説明を行い、連携先の協力を検討しながら、進め方の確認を行った
2	令和2年1月28日 (火) 10:00~12:00	2時間	坂祝町役場 3階 会議室	春成浩治、武田由美 古川竜治、各務眞弓 近藤利恵、高橋正郎 林伸孝、登田アンナ	・今年度の取組状況について:これまでの実施内容の効果と問題点を共有し、残りの取り組みについて、話し合った。 ・来年度事業について:今年度の問題点を改善した事業にするために、どのように運営したら良いかを検討した。

### (2) 地域における関係機関・団体等との連携・協力

連携体制	<p>生活の日本語教室において、可児市国際交流協会や多文化演劇ユニットMICHI、子ども食堂、日本語教育専門家など、教室内容に適切な講師と連携し、実施することができた。特に、防災のテーマの際は、坂祝町内の防災士の方々をつなげ、受講者が坂祝町の防災についてより詳しく知ることができ、安心感と防災意識を高めることができたのではないかと思います。当初予定していた、自治会や消防署との連携は、当町の担当者変更により、実施内容の見直しで、(今年度は断念し)今後の日本語教室で、連携体制を組んでいくこととした。</p>
------	---

### (3) 中核メンバー及び関係機関・団体による本事業の実施体制

本事業の実施体制	<p>2016年度より、当町の日本語教室立ち上げで連携している可児市国際交流協会の担当者や、2017年度より「定住外国人しごとサポート事業」に関わっている日本語講師、多文化演劇ユニットMICHIの代表、そして、全体のコーディネーターとして当町に7年在籍し外国住民向けの講座のコーディネーターを務める相談員を中心に事業を実施した。これらの4名を中核コーディネーターとして、定期的に会議を実施し、アンケート結果をもとに事業内容を検証し、進捗状況の確認や、今後の事業運営の改善につなげた。</p>
----------	---

### 3. 各取組の報告

日本語教育の実施【活動の名称： 地域と繋がる日本語教室】										
目的・目標	<p>【生活の日本語】            多国籍化する在住外国人が生活言語を習得し、日本語で地域住民と会話ができるようになること。</p> <p>【仕事に役立つ日本語】            多国籍化する在住外国人が生活する上で重要な「仕事」に着目し、働くうえでの不安を取り除き、自ら望む仕事を選択したり、職場での業務や活動をスムーズに行うことができるために必要な日本語の習得を目指す。</p>									
内容の詳細	<p>【生活の日本語】</p> <p>昨年度、可児市国際交流協会が、「2018年度文化庁委託「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 地域日本語教育実践プログラム(B) 空白地域の取組」の中で、坂祝町在住16歳以上の外国人を対象に「坂祝町外国人町民意識調査アンケート」を行った。(469人対象 返却数80人 返却率17.1%) アンケート結果分析の中で、「地域」と「子育て」の日本語能力について理解が低いことが分かり、今後、定住化が進む中、地域に関わる自治会や子育てに関するテーマは重要であり、日本語教室で取り扱うこととした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご近所付き合いのマナーⅠ～Ⅳ： 2時間 2回、2.5時間 2回 計4回</li> <li>・防災について学ぶ： 5.5時間 1回 ※防災については、2回実施する予定だったが、台風で1回中止となった。</li> <li>・病院について学ぶ： 2時間 1回</li> <li>・母語・継承語について学ぶ： 2時間 1回</li> <li>・お料理教室： 4.5時間 1回</li> </ul> <p>【仕事に役立つ日本語】</p> <p>履歴書や面接の仕方、会社の人への報告や連絡、相談の仕方、仕事でよく使われる日本語など、場面を想定し、日本語教師による読み書きを中心とした授業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全23回 水曜日 夜2時間</li> </ul>									
実施期間	<p>【生活の日本語】            令和元年7月13日～令和元年12月21日</p> <p>【仕事に役立つ日本語】            令和元年7月3日～令和元年12月18日</p>	授業時間・コマ数	<p>【生活の日本語】</p> <p>1回 2時間 × 4回 = 8時間            1回 2.5時間 × 2回 = 5時間            1回 4.5時間 × 1回 = 4.5時間            1回 5.5時間 × 1回 = 5.5時間</p> <p>【仕事に役立つ日本語】</p> <p>1回 2時間 × 23回 = 46時間</p>							
対象者	地域に在住する外国人と日本人	参加者	<p>【生活の日本語】            51人（受講者 39人、指導者・支援者等 12人）</p> <p>【仕事に役立つ日本語】            27人（受講者 23人、指導者・支援者等 4人）</p>							
カリキュラム案活用	病院など、生活場面で必要となる日本語を考える際に、「標準的なカリキュラム案で扱う生活上の行為の事例」や「教材集」を活用した。									
使用した教材・リソース	みんなの日本語									
受講者の出身(ルーツ)・国別内訳(人)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン	日本
【生活の日本語】			26				1			9
【仕事に役立つ日本語】	パキスタン(3人)									
受講者の出身(ルーツ)・国別内訳(人)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン	日本
【仕事に役立つ日本語】			20				2	1		
日本語教育の実施内容【生活の日本語】										
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名		
1	令和元年7月13日(土) 10:00～12:00	2	坂祝町 中央公民館	9	ご近所付き合いマナーⅠ	引越し、手土産、挨拶	山田久子	MACHI:住吉エリオ、中美保子 登田アンナ、樋口浪路、伊藤章子 (指導補助)		
2	令和元年7月20日(土) 10:00～12:00	2	坂祝町 中央公民館	8	ご近所付き合いマナーⅡ	席次(上座・下座)、 使ってはいけない言葉	山田久子	MACHI:住吉エリオ、中美保子、瀬織浩美 登田アンナ、樋口浪路、伊藤章子 (指導補助)		
3	令和元年9月21日(土) 10:00～12:00	2	坂祝町 中央公民館	9	病院 ～受診まで～	言葉、オノマトペ、診療科	近藤利恵	樋口浪路、土屋芳郎 (指導補助)		
4	令和元年9月28日(土) 10:00～14:30	4.5	坂祝町 中央公民館	10	料理教室	彩りよい栄養満点のお弁当作り	平井高子	樋口浪路、伊藤章子 (指導補助)		
5	令和元年10月12日(土)	台風のため中止								

6	令和元年10月19日(土) 10:00~15:30	5.5	坂祝町 中央公民館、 坂祝町内	11	防災について	防災まちあるき、 非常食体験、防災マップ作り	山田久子	MICHI:住吉エリオ、中美保子 防災士:若山浩史、永田信廣 登田アンナ、樋口浪路 (指導補助)
7	令和元年11月30日(土) 10:00~12:00	2	坂祝町 中央公民館	9	母語・継承語の大切さ	通訳を入れて、しっかり知識を得る	鈴木崇夫	登田アンナ、村上ヴァネッサ (通訳)
8	令和元年12月7日(土) 10:00~12:30	2.5	坂祝町 中央公民館	5	ご近所付き合いマナーⅢ	冠婚葬祭、のし袋、服装	山田久子	MICHI:中美保子 登田アンナ (指導補助)
9	令和元年12月21日(土) 10:00~12:30	2.5	坂祝町 中央公民館	2	ご近所付き合いマナーⅣ	お正月、挨拶、年賀状	山田久子	登田アンナ (指導補助)
日本語教育の実施内容【仕事に役立つ日本語】								
1	令和元年7月3日(水) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	14	自分のこと (挨拶・自己紹介)	自己紹介の方法を学び、日本語で自分のことを紹介する	渡辺いく子	樋口浪路、土屋芳郎、白戸美江 (指導補助)
2	令和元年7月10日(水) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	12	私の1日(時間)	起床から就寝までの一日の流れを説明する	渡辺いく子	樋口浪路、土屋芳郎 (指導補助)
3	令和元年7月24日(水) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	9	会社の中(場所)	仕事場、社長室、休憩室、食堂など職場の場所の名称を知る	渡辺いく子	樋口浪路、土屋芳郎 (指導補助)
4	令和元年7月31日(水) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	11	仕事のとき(服装)	仕事の時の服装について学ぶ	渡辺いく子	樋口浪路、白戸美江 (指導補助)
5	令和元年8月7日(水) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	4	指示が分かる	上司からの指示の種類、意味を理解する	渡辺いく子	樋口浪路、土屋芳郎 (指導補助)
6	令和元年8月21日(水) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	5	私の仕事 (機械の使い方)	仕事でよく使う機械の電源、パーツ、操作方法などを学ぶ	渡辺いく子	土屋芳郎 (指導補助)
7	令和元年8月28日(水) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	7	私の仕事 (部品の名前と数)	仕事でよく使う工具などの実物を見ながら名前、数え方、使い方などを学ぶ	渡辺いく子	-
8	令和元年9月4日(水) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	8	危険・注意	危険な場所や注意しなければならない場所を知り、動詞を使いながらの注意方法を学ぶ	渡辺いく子	土屋芳郎 (指導補助)
9	令和元年9月11日(水) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	3	トラブル (病気・家族のこと)	さまざまなトラブルの時の対応方法や誰に相談したらよいかなどを学ぶ	渡辺いく子	樋口浪路 (指導補助)
10	令和元年9月18日(水) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	6	遅刻の連絡と報告	電話での遅刻の連絡方法や体調不良の伝え方を学ぶ	渡辺いく子	土屋芳郎 (指導補助)
11	令和元年9月25日(水) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	5	欠席の連絡と報告	職場の上司に対しての休みの報告方法、理由の伝え方などを学ぶ	渡辺いく子	樋口浪路、土屋芳郎 (指導補助)
12	令和元年10月2日(水) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	5	仕事の相談	仕事をする上で困ったことなど、誰にどのように相談すればよいかを学ぶ(故障、異動願いなど)	渡辺いく子	-
13	令和元年10月9日(水) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	7	したい仕事とできる仕事	自分に合った仕事の選択方法や求職カードの記入方法を学ぶ	渡辺いく子	土屋芳郎 (指導補助)
14	令和元年10月16日(水) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	7	仕事をさがそう	求職申込書の記入方法を学ぶ	渡辺いく子	樋口浪路 (指導補助)
15	令和元年10月23日(水) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	6	ハローワークで相談	在留資格・希望職種・希望勤務地・日本語レベル・車の運転などの伝え方を学ぶ	渡辺いく子	土屋芳郎 (指導補助)
16	令和元年10月30日(水) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	3	求人票の読み取り	実物の求人票で各項目を説明する	渡辺いく子	土屋芳郎 (指導補助)
17	令和元年11月6日(水) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	3	履歴書を書こう1 (基本情報・資格・免許)	履歴書の書き方を学ぶ(自分の情報、免許、資格について)	渡辺いく子	土屋芳郎 (指導補助)
18	令和元年11月13日(水) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	2	履歴書を書こう2 (学歴)	履歴書の書き方を学ぶ(学歴について)	渡辺いく子	土屋芳郎 (指導補助)
19	令和元年11月20日(水) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	4	履歴書を書こう3 (職歴)	履歴書の書き方を学ぶ(職歴について)	渡辺いく子	土屋芳郎 (指導補助)
20	令和元年11月27日(水) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	4	履歴書を書こう4 (志望動機・本人希望)	履歴書の書き方を学ぶ(選んだ理由・好きなこと・やりたいこと)	渡辺いく子	土屋芳郎 (指導補助)
21	令和元年12月4日(水) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	2	履歴書を書こう5 (清書)	履歴書の清書	渡辺いく子	土屋芳郎 (指導補助)
22	令和元年12月11日(水) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	2	面接の受け方	面接の受け方、よくされる質問、答え方などをロールプレイで学ぶ	渡辺いく子	-
23	令和元年12月18日(水) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	2	面接に行こう 修了式	面接に行くときの服装、受け方、話し方(文法)などを学ぶ	渡辺いく子	-

## (1)-1 特徴的な活動風景(2~3回分)【生活の日本語】

### ○取組事例②

【第6回:令和元年10月19日:防災について】

当初、「防災まちあるき」は、徒歩で防災ルートを確認する予定でしたが、当日、雨が降ってしまい、急きょ、坂祝町のバスで、遠方まで出向き、徒歩では確認できない箇所まで、目視することが出来た。昼食時は、非常食の作り方の説明や試食をしたり、災害用のトイレの組み立てや大きさ、使い方を確認した。午後からは、午前に「まちあるき」で行った危険個所を思い出し、情報交換・共有しながら、防災マップ作りを行った。



### ○取組事例①

【第7回:令和元年11月30日:母語・継承語の大切さ】

「子育て」の日本語能力をつけることも日本社会で子育てをする外国人にとって、重要であるが、長く坂祝町に在住する予定でいる親子にとっては、母語・継承語の力をつけたり、維持することも大切である。どうして大切なのか、専門家をお招きし、通訳を交えながら、しっかりと知識を得た。母語の大切さを知った上で、日本語習得にどうつなげればいいのか、日本語支援者、日本語学習者が各々、考えられるいいきっかけとなった。



## (1)-2 特徴的な活動風景(2~3回分)【仕事の日本語】

### ○取組事例①

【第1回 令和元年7月3日】

まずは自己紹介ができるように、自己紹介で使用する単語や内容を学び、日本語支援者がグループに入って補助的にサポートをした。家族構成の名前、出身地、来日時期、自分の仕事、休日にすることなどの言葉を理解した後、一人ずつ前に出て日本語で自己紹介を行った。



### ○取組事例②

【第2回 令和元年7月10日】

1日の生活の流れについて、それぞれで話せるように学習した。まずは例題を見ながら、1日に行う事柄を日本語で答える練習をした後、学習者同士で、受け答えを実践した。自分の一日の流れをプリントにまとめ、前に出て皆の前で発表した。



## (2) 目標の達成状況・成果

### 【生活の日本語】

当町の相談員のネットワークや個人的な働きかけにより、日本語教室に参加者が集まるという状況だった。その上、時間通りに集まらなかったり、毎回、始まるまで運営できるか不安だった。「生活の日本語」は、【話す】ことに重点を置いていたが、学習者の多くが、メモをとりながら、受講していた。大事なことをメモにとることは大切だが、メモを取っている間に、授業が進行してしまい、日本語が耳に残らないことが起こり得るため、日本語を書く時間を授業の最後に作り、できるだけ書く時間を聞く・話す時間に充てられるように、サポーターと講師で改善策を共有するようにした。講師はやさしく丁寧な日本語で授業を進めているが、一度、通訳を入れてしまうと、講師の日本語を聞かない状況が生まれてしまったが、進め方を見直すうちに、学習者が少しずつ、通訳ではなく、日本語を用いて支援者を頼るようになってきた。

### 【仕事に役立つ日本語】

日本語教室で覚えた言葉、話したこと、面白かったこと、今後勉強したいこと、知りたいことなど、参加者に対して振り返りシート(アンケート)を実施した。授業終了後に記入することで、覚えた言葉が再確認となり、今後の生活や職場でも活用されると期待したい。

## (3) 今後の改善点について

日本語支援者が少なかったため、今年度実施した日本語支援者養成講座において今後の人材が増加することを期待したい。教室開講の案内について、行政の広報誌や世帯配布では自治会加入者にしか届かないため、学校に通っている外国人の子どもにチラシを渡したり、当町の定住外国人自立支援センターから発信することも行ったが、在住外国人の出席には結びつかず、今後は、より広く周知できる方法を検討する必要がある。日本語支援者は、日本語が話せない外国人に対して、やさしい日本語で接すること、日本語学習者のために、託児をつけることで、より日本語教室に参加しやすくなること、今回はほぼ全員がポルトガル語を母語とする方が学習者だったが他言語の方が来る場合に他の通訳が必要となることなど、日本語教室を運営していくために必要なことが事務局側も支援者も知る、いい学びの機会となった。

日本語教育を行う人材の養成・研修の実施【活動の名称：日本語支援者養成講座】

目的・目標	地域住民を対象として、外国人の日本語学習をサポートできる人材を養成する。サポートに必要な知識や技能の習得を行うとともに、外国人と日常的に関わる地域住民の外国人に対する意識や多文化共生の考え方に関する理解を促す。									
内容の詳細	坂祝町における日本語学習支援者を養成していくにあたり、「日本語教育人材の養成・研修の在り方(報告)」を用いた養成講座を取り組むことが最適と考え、教育内容を計画した。今年度から坂祝町で日本語教室が実施されることに伴い、多くの支援者が必要とされるため、本書の「日本語学習支援者に求められる資質・能力」を前提に、未経験者、初心者向けに開講した。 ・地域日本語教室、日本語ボランティアの役割、やさしい日本語、日本語多読、異文化間コミュニケーションスキル、実習等：全13回									
実施期間	令和元年12月22日～令和2年3月2日			授業時間・コマ数			1回 2時間 × 10回 = 20時間 1回 3時間 × 2回 = 6時間 1回 5時間 × 1回 = 5時間			
対象者	日本語教室に関わろうとしている 又は 関わっている方			参加者			総数 66人 (受講者 38人、指導者・支援者等 12人、協力学習者 16人)			
カリキュラム案活用	・「日本語教育人材の養成・研修の在り方(報告)」:日本語学習支援者に求められる資質・能力 及び 日本語学習支援者研修における教育内容を参照 ・講義の中で、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案の紹介を行った。									
使用した教材・リソース	にほんごボランティア手帖、日本語ボランティア手帖すぐに使える活動ネタ集									
受講者の出身(ルーツ)・国別内訳(人)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン	日本
	1		18						7	39
スリランカ(1人)										

養成・研修の実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名
1	令和元年12月22日(日) 10:00~12:00	2	坂祝町 中央公民館	18	地域日本語教室の 役割	地域日本語教室とは何か。可児市国際交流協会の事例を交えながら考える。	各務眞弓	近藤利恵、登田アンナ
2	令和2年1月12日(日) 13:00~15:00	2	坂祝町 中央公民館	24	日本語ボランティアの 役割	<1>ボランティアって何? <2>地域日本語教室でやっていること <3>多文化共生のための「地域日本語教室のあり方」を考える <4>日本語ボランティアの役割を考える <5>日本語ボランティアの基礎力	米勢治子	近藤利恵、登田アンナ
3	令和元年2月19日(日) 13:00~15:00	2	坂祝町 中央公民館	12	岐阜県と 坂祝町の現状	<1>岐阜県の多文化共生について <2>坂祝町の現状とこれからの日本語教育について	谷口真里子 林伸孝	近藤利恵、登田アンナ
4	令和2年1月26日(日) 13:00~16:00	3	坂祝町 中央公民館	18	やさしい日本語 ワークショップ	<1>対面でのやさしい日本語とは <2>動画を見ながら考える:基本スキル <3>やさしい日本語に変換するポイント <4>多文化共生のための日本語教室のあり方	米勢治子	近藤利恵、登田アンナ
5	令和2年2月2日(日) 10:00~12:00	2	坂祝町 中央公民館	13	異文化間 コミュニケーション スキルⅠ	<1>自己紹介 <2>コミュニケーションの取り方 <3>次回の実践に向けての準備:「となりのトロ」のセリフの準備	渡辺いく子	登田アンナ
6	令和2年2月5日(日) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	11	実習Ⅰ	<1>学習者と自己紹介 <2>「となりのトロ」のセリフで日本語練習 <3>セルフチェック	渡辺いく子	登田アンナ
7	令和2年2月9日(日) 10:00~12:00	2	坂祝町 中央公民館	14	異文化間 コミュニケーション スキルⅡ	<1>実習Ⅰの振り返り <2>次回に向けての準備:1年の季節と行事を話す <3>「となりのトロ」のセリフの準備	渡辺いく子	登田アンナ
8	令和2年2月12日(日) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	9	実習Ⅱ	<1>1年の季節と行事の話 <2>「となりのトロ」のセリフで日本語練習 <3>セルフチェック	渡辺いく子	登田アンナ
9	令和2年2月16日(日) 10:00~12:00	2	坂祝町 中央公民館	9	異文化間 コミュニケーション スキルⅢ	<1>実習Ⅱの振り返り <2>次回に向けての準備:何が好きですか。漢字と絵のつなぎ合わせ。朝・昼・晩何を作る?何を食べる?	渡辺いく子	近藤利恵、登田アンナ
10	令和2年2月19日(日) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	7	実習Ⅲ	<1>何が好きか、何を作るか、何を食べるか話し合う <2>「となりのトロ」のセリフで日本語練習 <3>セルフチェック	渡辺いく子	登田アンナ

11	令和2年2月22日(日) 10:00~16:00	5	坂祝町 中央公民館	15	日本語多読の 手法を学ぶ	<1>多読とは <2>多読の方法:多読の4つの ルール <3>支援者の役割 <4>多読実践: 多読の様子・多読の効果 <5>多読の本に ついて <6>話し合い <7>学習者を交えて 実践 <8>ブックトーク	栗野真紀子	近藤利恵、登田アンナ
12	令和2年2月26日(日) 19:00~21:00	2	坂祝町 中央公民館	8	在住外国人との 座談会	<1>パネルディスカッション <2>グループ ワーク:ヒアリングを通して気付いたこと・ 学習者たちとどんな活動ができそうか <3> グループ発表	近藤利恵 渡辺いく子	登田アンナ
13	令和2年3月1日(日) 13:30~16:30	3	坂祝町 中央公民館	9	実習Ⅳ	<1>可児市国際交流協会日本語教室見学 <2>実際に支援者として関わってどうだった か <3>会話教室のテーマ、授業形態につ いて考える <4>講座13回を終えて振り返り	近藤利恵 登田アンナ	登田アンナ

## (1) 特徴的な活動風景(2~3回分)

### ○取組事例①

【第6回:令和2年1月12日(日):日本語ボランティアの役割】

《ボランティア》や《地域日本語教室でやっていること》を学び、グループワークで「生活するうえで必要なことは?」「日本人と仲良くするための話題」「年間の活動で必要なこと」「毎回の活動で必要なこと」を考えた。受講者からは「日本語ボランティアについて、よく考えることができ、本当に良かった。身近な例をあげてお話いただき、分かりやすかった。」「自分の問題意識がずれていることに気が付いた。」「日本語教育の本来の目的、役割について学ぶことができ、さらに深めていきたいというモチベーションにつながった。初心者にもとても分かりやすいお話だった。」等、受講して良かったご意見を多数いただいた。



### ○取組事例②

【第11回:令和2年2月22日(日):日本語多読の手法を学ぶ】

午前は、座学で、多読について、多読の4つのルールや支援者の役割を学んだ。実際に講師の教室で実践されている動画を見せていただきながら、イメージを掴んだ。午後は、在住外国人に学習者として、受講者には支援者として、午前に学んだことを実践してみた。会の最後に行うブックトークでは、会話が弾み、今後是非やってみようという気持ちで、講座を終えることができた。

\* NPO多言語多読の栗野講師が、坂祝町での講座の様子をブログにアップして下さったので、掲載いたします。  
<https://tadoku.org/blog/blog/2020/03/14/9599>



## (2) 目標の達成状況・成果

座談会や実習は、日本語学習者(在住外国人)にも参加協力を促していたが、なかなか協力をいただくことが出来なかった。特に、座談会については、日本語教室を運営するにあたり、ニーズ分析のために行う主旨を伝えながら、誘っていたにもかかわらず、関心度が低かったことが非常に残念だった。また、支援者が日本語教育に関わろうとすると、「県の施策や考えは?」「(関わろうとする地域の)方針は?現状は?」など、知りたいと申し出てくる傾向にあるため、本事業の養成講座に必須事項として、【岐阜県と坂祝町の現状】という回を挙げてみたが、難しそうだからと敬遠されるのか、予想以上に出席者が少なかった。

町外からの受講者もいたが、7割以上出席した受講者6人中5人が坂祝町住民だったことが非常に良かった。新型コロナの影響で、最終回実施有無が危ぶまれたが、受講者からは、最後まで受けたいので、「中止」ではなく是非「延期」で検討していただきたいと、講座を楽しみにしている声をいただけた。何とか開催できた最終回で、次年度、坂祝町で開講予定の日本語教室の内容を紹介したところ、この養成講座で勉強したことを生かして、是非関わってみたいとの意向が確認でき、講座開催目的の達成感を感じることが出来た。

## (3) 今後の改善点について

次年度に日本語教室を開催することが決まっていたため、今年度、本事業で支援者養成講座を実施する意味がもてた。やみくもに支援者養成講座をしても、日本語教室がなければ、受講者は目的が持たずに離れていってしまう。今までがそうであった。今回、今までの養成講座に参加していただいた坂祝町住民に、電話連絡や手紙を送って、再度、受講していただくよう促した。数名、再会することができたが、出席されなかった方々には、以前持っていたボランティアを生かす機会があることを今後もお伝えしていきたいと思う。

日本語教育のための学習教材の作成【教材の名称：仕事に役立つ日本語】

<p>目的・目標</p>	<p>日本語学習の場において、坂祝町を含めた地域にちなんだ教材を活用することにより、日本語の習得のみならず、地域での生活情報等を提供し、町民全員が安心して快適に暮らすことができるように支援する。</p>		
<p>内容の詳細</p>	<p>仕事で使う日本語の読み書きに重点を置き、履歴書でよく使われている漢字の読み方や各欄の書き方、ハローワークでよくみられる日本語の意味、職場での注意や危険なことなど、安全に仕事をするための日本語を文型練習を入れながら、テキストに沿って授業が進められるような内容に仕上げた。</p> <p>I 会社に行こう          1. 自分のこと(挨拶・自己紹介)          2. 私の一日(時間)</p> <p>II 会社で働こう          3. 会社の中(場所)          4. 仕事するとき(服装)          5. 指示がわかる          6. 私の仕事(機械の使い方)          7. 私の仕事          8. 危険・注意</p> <p>III 会社の人と話そう(報告・連絡・相談)          9. トラブル(病気・家族のこと)          10. 遅刻の連絡と報告          11. 欠席の連絡と報告          12. 仕事の相談</p> <p>IV これからの私を考えよう          13. したい仕事とできる仕事          14. 仕事をさがそう          15. ハローワークで相談          16. 求人票の読み取り          17. 履歴書を書こう1(基本情報/資格・免許)          18. 履歴書を書こう2(学歴)          19. 履歴書を書こう3(職歴)          20. 履歴書を書こう4(志望動機・本人希望)          21. 履歴書を書こう5(清書)          22. 面接の受け方          23. 面接に行こう</p> <p>* 表紙には、坂祝町マスコット「ほぎもん」勉強中を掲載</p>		
<p>実施期間</p>	<p>令和元年7月1日～令和2年3月19日</p>	<p>作成教材の 想定授業時間</p>	<p>1回 2時間 × 30回 = 60時間</p>
<p>対象者</p>	<p>日本語初級～中級者</p>	<p>教材の頁数</p>	<p>50 ページ</p>
<p>カリキュラム案活用</p>	<p>計画当初、【生活の日本語教材】も作成する予定でいたため、カリキュラム案や教材例集を参考にすることにしていたが、期中担当者変更により、【仕事に役立つ日本語教材】のみになり、カリキュラム案等を活用せずに、作成となった。</p>		
<p>事業終了後の教材活用</p>	<p>地域日本語教室で使用する教材として、当町の日本語教室で使用するだけでなく、日本語教室がある大学や町内企業にも広く活用していただけるよう、紹介する。</p>		
<p>成果物のリンク先</p>			



#### 4. 事業に対する評価について

##### (1) 事業の目的・目標

多国籍化する在住外国人が生活言語を習得し、日本語で地域住民と会話ができるようになること。  
また、当町が日本語教室を長期的に運営できるよう、多くの団体や大学等と連携を図ること。

##### (2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

昨年度、「坂祝町外国人町民意識調査アンケート」を行う中で、「地域」と「子育て」の日本語能力について、理解が低いことが分かり、今年度、それらを意識した内容で【生活の日本語】教室を開講できた。しかし、日本語教室の学習者は、ほとんど当町の相談員が電話などでダイレクトに呼びかけた方々で、在住外国人が自らチラシなどに目が留まり、受講されたというのは皆無に等しかった。周知方法は、今後も検討していかなければならないが、出席した学習者からは、「とてもいい内容だった、また来たい」とアンケートで回答していただけて、リピーター率も高かった。今後は、学習者の口コミも頼りにして、引き続き【生活の日本語】教室を充実させていきたい。そのため、支援者の人員を増やさなければならず、【日本語支援者養成講座】を実施した。“初心者、未経験者向け”に設定したのが、良かったのか、予想を上回るほど、たくさんの方々に受講していただけた。グループワークなど、回を重ねるごとに、受講者の人柄や熱意が共有でき、親しみをもって、講座を進められたこと、支援者として、次年度の日本語教室に関心をもっていただけたことは、とても大きな成果である。教材作成では、【仕事に役立つ日本語】教室で使用できる教材をまとめた。職場の様々な場面で使えるようになっているが、日本語の練習だけでなく、心得なども織り込んだ。いろいろな人の手に行き渡ることにより、さらに坂祝町の日本語教室で日本語を勉強したいという気持ちになってくれることを期待したい。

##### (3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

病院など、生活場面で必要となる日本語を考える際に、「標準的なカリキュラム案で扱う生活上の行為の事例」や「教材集」を活用し、受講者にわかりやすい講座となった。

##### (4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

日本語教室開講初年度であったため、どんな在住外国人が当町の日本語教室に関心を示してくれるのか、どんな支援者が外国人をサポートしてくれるのか、全てが手探りの中での運営で、期中、当町の担当者の体調不良も伴い、一時、存続できるかどうか危ぶまれたが、他団体との連携によって、体制整備の見直しを図り、持ち直すことができた。また、【生活の日本語】教室の防災では、他団体との連携により、坂祝町住民で防災士を持っている方と共に学習する機会がもて、地域の日本語教室では、地域住民を巻き込んで運営していくことの大切さを理解することができた。

##### (5) 事業実施に当たっての周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

外国人向けFacebookでの発信や、チラシでの応募、自治会に加入していない外国人に知っていただくため、幼稚園・小・中学校にもチラシを配布した。本事業の報告については、町のホームページにて周知していく予定。

##### (6) 改善点、今後の課題について

日本語教室の受講者の人数が安定していない。受講者の中には、家族がいる方がほとんどで、平日の夜に開催すると人数が少ない時がある。受講しやすい時間帯、曜日のニーズを把握し、できる限り近付けて設定していく。毎回、電話などでダイレクトに呼びかけるのは、とても大変であるため、周知方法を今までに加えて、スーパーの店頭には置くなど、在住外国人が身近に利用している施設に依頼を行っていく。

##### (7) その他参考資料

- 生活の日本語教室 チラシ
- 仕事に役立つ日本語教室 チラシ
- 日本語支援者養成講座 チラシ
- 仕事に役立つ日本語教室 作成教材